

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

徳島県勝浦町 国保勝浦病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	4	-	訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
5,448	3,495	第2種該当	15:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

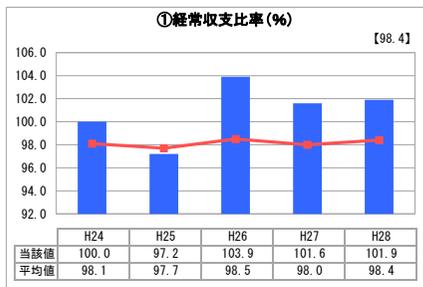
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
60	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	60
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
60	-	60

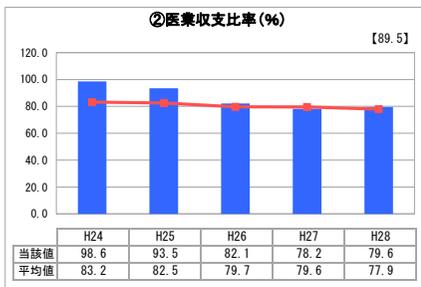
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

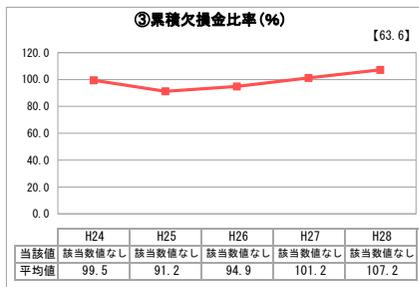
## 1. 経営の健全性・効率性



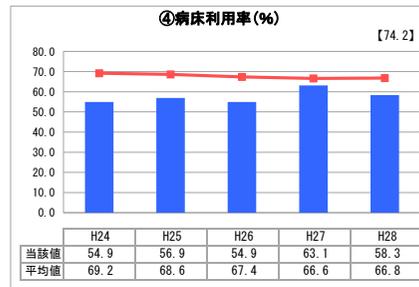
「経常損益」



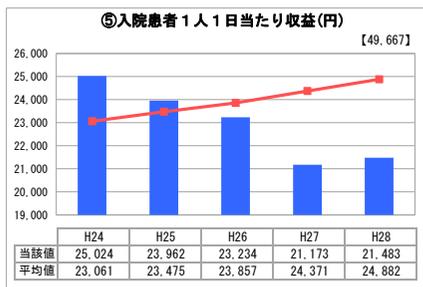
「医業損益」



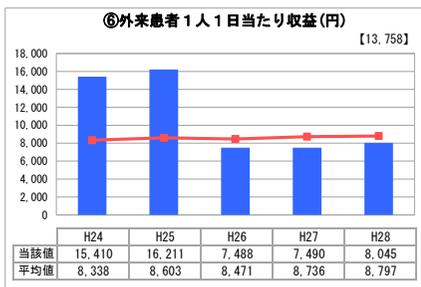
「累積欠損」



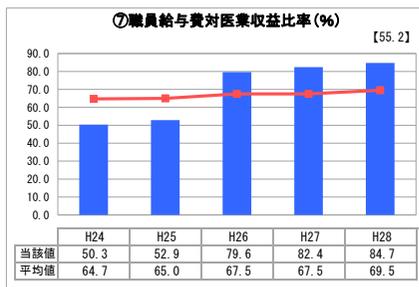
「施設の効率性」



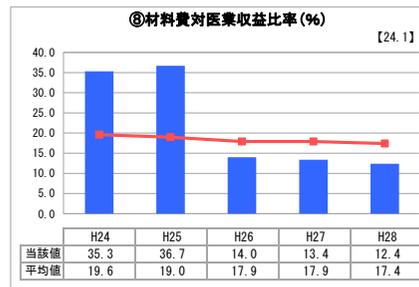
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

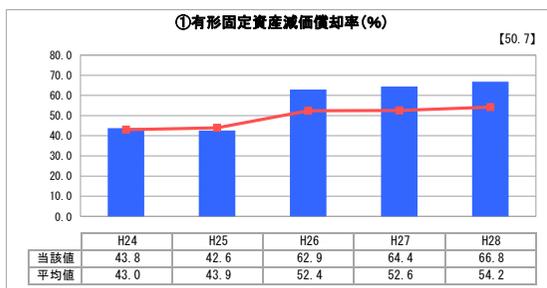


「費用の効率性①」

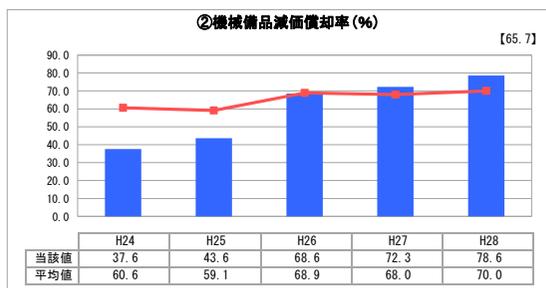


「費用の効率性②」

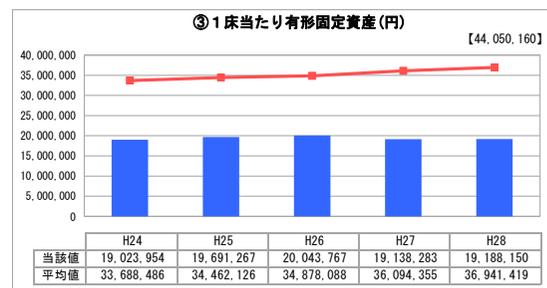
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

郡内で唯一の入院機能を持つ医療機関として、一般急性期～回復期～慢性期の幅広い病床機能に対応している。

地域住民のかかりつけ病院として、急性期医療機関や介護老人福祉施設など介護施設との連携、更には在宅医療の推進など、医療のみならず介護・保健・福祉等の各分野との連携も進めている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

医業収支比率を見ると低下傾向であるが、類似病院と同程度である。ただし、病床利用率や入院・外来患者一人1日当たり収益は下回っている。また、職員の年齢構成が高く、職員給与と費対医業収益比率が高くなっている。

職員年齢構成の標準化や、業務の外部委託等を検討し効率的な運用が求められている。また、病床利用率も70%を切っており、病床削減についても検討の必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

昭和56年に現地に転移改築し、築37年が経過している。施設全体の老朽化が進み、効率性や安全性、更には快適性に欠けた医療施設になっている。

平成28年度に改築に向け基本構想を策定し、平成33年度末に新病院開院に向け現在基本設計中である。

### 全体総括

経営状況は横ばいであり、入院患者数、外来患者数、病床利用率ともに減少している。平成28年度に策定した改革プランを実行するとともに、平成33年度の改築に向け、ソフト・ハード両面における改革が必要である。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。